

## 第42回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	令和6年8月9日（金） 県庁4階大会議室		
委員  (委員数：5) (出席数：5)	委員長	中出孝典	(富山大学名誉教授)
	委員	内田慎哉	(富山県立大学工学部准教授)
	委員	小股清香	(弁護士)
	委員	佐藤綾子	(富山国際大学現代社会学部教授)
	委員	下坂久美子	(税理士)
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 令和5年度下半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 令和5年度下半期の一位不動入札及び落札率100%入札について 令和5年度の予定価格及び入札方式別落札率について 令和5年度の一者入札について 令和5年度の総合評価方式の試行結果について ④ 令和5年度の低入札価格調査制度及び最低制限価格制度対象工事の状況について ⑤ 令和5年度下半期の指名停止の運用状況について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	令和5年度下半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：994件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	(事案1) 発電制御所ほか 監視制御システム更新
	1億円以上	1件	(事案2) 主要地方道高岡環状線道路改築橋梁上部工（6-1）
	2千万円以上	3件	(事案3) 金山谷地区砂防総合交付金（急傾斜）法枠工 (事案4) 境川ダム河川改修取水ゲート塗装 (事案5) ほ場整備 遊部一期地区 ほ場整備第2工区
指名競争入札	4件	(事案6) 伏木富山港（新湊地区）ふ頭用地災害復旧国際物流ターミナル舗装復旧 (事案7) 一般県道小野上渡線道路災害復旧落石防護柵工 (事案8) 伏木富山港（富山地区）港湾総合交付金富岩運河緑地基盤整備 (事案9) 基幹水利施設 横水地区 沢頭頭首工ゲート修繕	
随意契約	1件	(事案10) 白岩川水系白岩川応急対策その18	
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	令和5年度下半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○入札の全体件数について、どのように能登半島地震の影響が出ているか。</p>	<p>原則、設計額が2千万円以上である場合は、一般競争入札としているが、災害復旧工事は早期に工事を進める必要があるため、指名競争入札としている。これにより、令和5年度は、前年度と比較して指名競争入札の件数が増加している。</p>
<p>○今年度行った低入札価格調査制度等の対象拡大について、どのような影響や効果があるのか。</p>	<p>従来、本制度の対象外であった工種において、調査基準価格等を設定することにより、落札率が上昇すると考えられる。効果としては、ダンピング対策や受注者の適正な利潤の確保につながる。</p>
<p>○事案2の工事は一者入札。受注者は全国的にも技術力の高い事業者と承知しているが、他の事業者が入札に参加する余地はあったか。</p>	<p>当該受注者を含め、入札参加資格があるのは全国で16者であり、入札参加は可能である。</p>
<p>○事案3の工事について、入札参加資格の資格者名簿の登載業種に「ボーリング工事」が含まれているのは何故か。</p>	<p>一般的に、法面処理工事の入札参加資格の資格者名簿の登載業種は「ボーリング工事」又は「とび・土工・コンクリート工事」としている。本工事では鉄筋挿入工も行っており、これは「ボーリング工事」に該当する工種である。</p>
<p>○事案4の工事について、4者辞退しているが何故か。</p>	<p>辞退理由については把握していないが、地理的条件、手持工事量及び発注見通し等を勘案されたものと考えられる。</p>
<p>○事案5の工事について、本工事以外に契約金額が同規模のほ場整備の工事が多くの場所で発注されているのは何故か。</p>	<p>ほ場整備は、土の移動等が主な工事となるため、天候の悪い日が続く冬になる前までに完成するように発注しており、工事の規模に限度があるためである。</p>